災害対策マニュアル

（患者様用）

Ⅰ.災害時に備えて

Ⅱ.災害時の対応

Ⅲ.災害用伝言ダイヤルについて

Ⅳ.災害カードについて

Ⅴ.災害時の心得

Ⅵ.香川県透析施設一覧表

Ⅶ.避難経路

キナシ大林病院　透析室

住所　高松市鬼無町藤井 435-1
電話（087）881-3631（代表）
ＦＡＸ（087）881-3867

Ⅰ.災害時に備えて

1） 大規模な災害が起こった時に、通常通りの治療が行えなくなる場合があります。必要な物品や薬剤の供給が通常通りに行われなくなる場合や、透析施設に被害が出て電気･水道の供給が途絶えた場合に、当院へ他施設からの患者様を受け入れる場合もあります。この為、災害時には必要最低限の治療しか出来ず、大幅に透析条件を変更せざるを得ない場合があるという事をご理解下さい。

2） 災害の為に透析療法が受けられず、次の透析が出来るようになるまで生命の安全が維持できるかどうかは日頃の自己管理が重要となります。

① 体重の増え幅を 5%以内におさえてください。

② カリウム値を日頃より 5.4mEq/I 以下におさえましょう。

③ 自分の透析条件は覚えておきましょう。
(透析時間・ダイアライザー・ドライウエイト・血流量)

④ 血圧の高い人、低い人・心臓に持病がある人・ステロイドを普段から内服している人は注意して下さい。

3） 現在受けている治療内容を知り自己管理しておきましょう。

① ドライウエイト・血圧

② 定期内服薬の内容

③ 薬や食べ物のアレルギー

4） 災害時の必需品

① 災害カード

② 保険証・免許証・お薬手帳のコピー

③ 定期内服薬（災害時予備薬１週間分）

④ インスリンを使用している方はシリンジ・アルコール綿
血糖測定器セット・角砂糖・ブドウ糖など

⑤ マスク・消毒液・聴診器・止血ベルトなど

⑥ カリウムや塩分、たんぱく質の量に配慮した非常食・保存食

※ 緊急時に、すぐ持ち出せる様に準備しておきましょう。

※ 賞味期限･使用期限のある物に関しては定期的に交換しましょう。

※香川県防災センター「非常持ち出し品」を参考に準備して下さい

非常持ち出し品

避難するときにすぐに持ち出すべきもの。
「**いざ**」というとき、さっと持ち出せるよう**必要最小限**のものを準備しましょう。
両手が使えるよう**リュックサック**などに入れ、取り出しやすいところに置いておきましょう。

【参考】

食料品

貴重品

情報

便利

冷えピタ

救急・衛生

赤ちゃん・お年寄り・女性

香川県防災センター

非常備蓄品

被災後の生活を支えるもの。
大きな災害が起こると、支援物資が各地に行き届くまでにかなりの時間がかかります。
電気・ガス・水道などのライフラインが止まった状況で生活することを考え、
食料品などの消耗品は、**3日分以上** 用意しておきましょう。
非常食は賞味期限に注意が必要です。何がどの程度必要か、家族で検討してみましょう！

【参考】

香川県防災センター

Ⅱ.災害時の対応（地震・火災・台風・洪水）

1） 透析中に地震が発生した場合

☆「自分の身は自分で守る」を意識して行動しましょう！！

① 地震で揺れを感じたら布団をかぶり、蛍光灯・窓ガラスなどの落下物から身を守りましょう。
② 穿刺針が抜けない様に血液回路をしっかり握りましょう。
③ ベッド柵につかまり、転落しないように体を支えましょう。

＊地震時、透析室内は周囲より安全です。起き上がる事なく揺れが収まるまで待ってから、次の行動に移るようにして下さい。

＊揺れている間、パニックになって立ち上がると針が抜けて大出血する原因になるので、揺れている間はベッドに横になっていて下さい。

＊揺れている間はスタッフもベッドサイドへ行く事が出来ません。収まり次第、スタッフが順番に確認に回ります。

＊大きな揺れも数十秒で必ずおさまると思われます。透析を続けるかどうかは医療スタッフの指示に従って下さい。

（＊震度５以上で緊急回収を行います。）

通常時

地震時

☆避難する場合☆

① 返血が可能な場合は、返血後に抜針し止血ベルトで固定します。
基本的には、いつも行っている返血を行います。
＊スタッフの指示に従い、勝手な行動はしないようにして下さい。
＊返血回収・緊急離脱の順番は守って下さい。

② 緊急を要する場合は、返血せずに抜針し止血ベルトで固定します。
その為にも、各自で止血ベルトの準備をして下さい。
＊穿刺部からの出血に注意して下さい。
＊穿刺部の圧迫止血を確実に行って下さい。

③ 落下物などから頭を守る為にタオルなどをかぶり避難しましょう。

④ 避難時は、ケガ防止の為に、必ず履物を履いて避難しましょう。
＊出来るだけ透析中は靴下を履くようにして下さい。

⑤ 火災発生時は、タオルなどで口と鼻を押さえ煙を吸い込まない様にして下さい。（避難経路を参照して下さい。）

⑥ 緊急避難時は、荷物をおいて避難するようになります。貴重品は普段からあまり透析室に持ってこない様にしましょう。どうしても必要な荷物は常時携帯される事をお勧めします。

＊自力で動ける患者様は体の不自由な患者様の避難誘導にご協力

お願い致します。

《避難場所》

地震時

＊スタッフの指示に従い行動し、安全な場所に避難して下さい。

火災時

＊ 自力歩行可能な人　→　階段を使用し避難

＊ 寝たきり･介助を要する人　→　リハビリ奥庭園

◎避難場所に関しては状況により変わる事があるので、スタッフの指示に従って下さい。

⑦　出来るだけ姿勢を低くし、スタッフの指示に従い行動し、安全な場所に避難して下さい。

⑧　非常時は、エレベーターが途中で止まる危険性があるので絶対に使用しないで下さい。

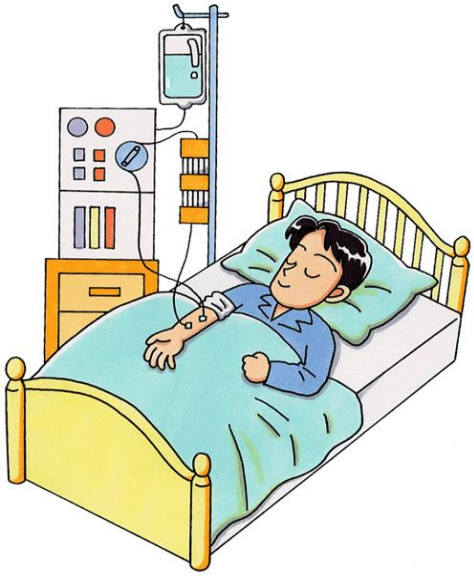
⑨ 避難後は、病院で待機または家族の迎えを待って下さい。

避難場所の確認：★すぐに帰宅したり、勝手にその場を離れない様にして下さい。必ずスタッフの指示に従って下さい。

★患者様の状態を確認します。体調の悪い方は申し出て下さい。

停電時

＊停電しても自家発電が作動するので当面の間は心配ありません。



2）自宅で災害が起きた場合

★まずは身の安全を確保して下さい。家具の倒壊や落下物から身を守り、揺れが収まるのを待ちましょう。

① 緊急速報（テレビ・ラジオ）を聞き、災害の程度と危険地域、被害の発生状況を知り、避難指示があれば従って下さい。

② 自分が受けている施設が被災し、治療が受けられない場合、他の透析可能病院や施設を避難所で対応してもらえます。
＊当院からの送迎は難しい為、自分で来る事が出来る方は来て下さい。

③ 避難場所では、避難所のスタッフに透析をしている事を伝え、援助を依頼して下さい。(災害カードの提示をして下さい)
※阪神･淡路大震災や、新潟県中越沖地震･東日本大震災などの震災時、行政は申し出のあった透析患者様を優先的に支援しています。

④ 普段の交通手段が使えるかどうかを確認して下さい。
＊大規模災害時は、公共機関は利用出来ない事を念頭に、避難所
透析医療機関・他施設への移動方法を考えておきましょう。

⑤ 大規模災害では 2～3 日治療が出来ない場合もあるので、定期薬剤を内服して対応して下さい。
＊透析時間が短くなったり、次回の透析日までの間隔が長くなったりするなど通常に比べ、十分な透析が出来ないと思って下さい。

⑥ 日頃から、水分管理・食事管理に気をつけて下さい。(別紙参照)

⑦ 非透析日の場合は、病院から安否確認はしません。状況が落ち着いたら患者様より連絡下さい。

※日頃から災害時にはどのような行動をとればよいか家族で話し合いましょう。
いざという時、慌てずに安全な避難が出来る様、お互いに心の準備をしておきましょう。

異常時の早期発見について

★以下のように、いつもと違う症状がある時は、透析医療機関又は
避難所医師もしくは、スタッフへ相談するようにしましょう。

①発熱
②心不全徴候：息苦しさ・手足のむくみ等
③尿毒症症状：頭痛・嘔気・全身のだるさ等
④高カリウム症状：脱力感・口唇、手足の痺れ・不整脈等
⑤低血糖症状：冷汗・動悸・気分不快・意識消失等
⑥シャント閉塞：耳を当ててもシャントの音が聞こえない・指で軽く
触れても拍動を感知しない・シャントの感染・出血等
⑦腹膜透析関連合併症：出口部感染・排液混濁に要注意

被災生活中の食事について

★透析をすぐに受けられない事態が想定されるので、いつも以上に食事に対する注意が必要です。普段から塩分・水分やカリウムの過剰摂取を控える事が大切ですが、災害発生時は特に注意して下さい。

①平常時よりも食事から摂取するタンパク質・カリウム・塩分が多くなりやすい
透析不足に加え、透析者向きではない非常食や配給食糧で、尿素窒素やカリウムの数値が普段以上に高くなる可能性があります。

（避けたい食品）
・果物、野菜ジュース、お茶、コーヒー、牛乳、弁当の梅干し、漬物、佃煮
おかずの一部、チョコレート、黒砂糖の入った菓子

（カロリー確保に食べると良い食品）
・白米、お粥、麺類、パン、乾パン、ビスケット、飴玉
＊麺類、パンは塩分に注意。種類によっては塩分やカリウムが高いものがあるため、食べ過ぎない様にしましょう。
＊おにぎり：中の具の塩分が高い為、極力避けましょう。
＊いなりずし、海苔巻き：塩分が高いので避けましょう。
＊醤油やソースなどの調味料は使用しないようにしましょう。

②カロリー不足で命の危険！
・食事量が不足して摂取カロリーが減ると、体内のタンパク質が壊れて尿素窒素やカリウムが上昇します。透析患者様の命を脅かす、大変危険な状態です。
カロリー不足に注意して充分食べる事が大切です。

③水分は摂りすぎも我慢しすぎも禁物！
・透析がなかなか受けられない事を考え、水分は普段の 2/3 程度に減らしましょう。日頃から水分を我慢出来ないタイプの人は特に気を付けて下さい。とはいえ水分が少なすぎると、血栓症やエコノミークラス症候群になりかねません。水分は適度に摂りましょう。また、喉が渇いてしまうので、塩分の摂り過ぎは禁物です。

被災生活中の合併症・感染予防策

①糖尿病がある場合は、さらなる注意と準備を！

・インスリンの注射や糖尿病の薬服用など、被災生活で食事が減った場合に
どのような形で行えばよいのか、各自で覚えておきましょう。

②口の中をきれいにして肺炎を防止する！

・歯磨きを怠ると、汚れた口の中の細菌が原因で肺炎になる事があります。
水を使えない場合でも、歯を綿棒やティッシュでこすったりして衛生を
保ちましょう。

③感染症をうつされないよう自衛する！

・東日本大震災では、被災地の避難所を中心に肺炎、ノロウイルス胃腸炎
0-157 腸炎が流行したり、結核の方が見つかりました。
ストレスで弱った体は感染症に対する抵抗力が落ちています。マスク装着
手洗い、うがい、ウエットティッシュ等での手洗浄で自衛を心掛けましょう。

Ⅲ.災害用伝言ダイヤルについて

1）地震などの災害時には、安否の確認や問い合わせなどの電話が増加し、つながりにくい状況が１日～数日間続く事が予想されます。このような状況を避ける為にも、施設の被害状況を知る為の「NTT 災害用伝言ダイヤル」があります。これは１７１にダイヤルする方法で、当院が録音した内容を聞く事が出来るサービスです。災害ダイヤルを利用し、当院の状況を把握出来る様にして下さい。

伝言の再生方法
１．１７１にダイヤルする ▼ガイダンスが流れる ２．２を押す ▼ ３．☎（087）881-3631 を入力する ※キナシ大林病院透析室の被害状況を確認する。

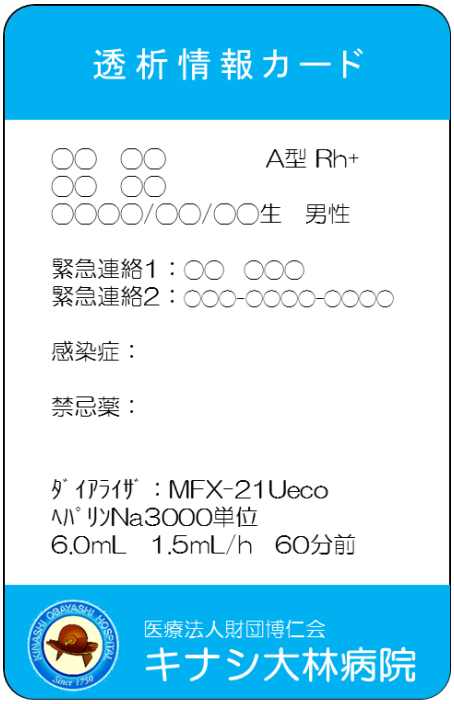
2）「当院の被害状況」「当院で透析が出来るかの有無」などについての情報を、おおむね３時間毎に更新します。その時に次回の更新時間もお伝えします。各自で確認する様にして下さい。
夜間の場合は、最終更新時に次回の更新は翌朝〇〇時頃の更新になりますと入れます。

※　震度６以上の地震発生時にご利用できるようになります。
震度５以下の地震ならびにその他の災害発生時には、電話の通信状況により利用することが出来ます。

3）携帯電話災害用伝言サービス
患者様同士で携帯電話の「携帯電話災害用伝言サービス」を使って、安否の確認等の情報を交換する事が出来ます。各携帯会社のサービスを確認しておいて下さい。

Ⅳ．災害カードについて

他施設で透析を受ける際に「災害カード」が重要になります。この災害カードには、患者様の透析条件などの情報が記載されています。災害は、いつ、どんな状況で発生するかわかりません。常に携帯する様にしましょう。



Ⅴ．災害時の心得

☆災害が起こった時、患者様には慌てず落ち着いて行動する事をお願いします。透析中に災害が起こった場合、不必要な言動によりスタッフの指示が耳に届かない事も予想されます。その為、不必要な言動は控え、スタッフの指示に従っていただく事をお願いします。

☆非透析日の場合も同じく、慌てる事のない様に落ち着いて行動する様にしましょう。

※この災害マニュアルは、自宅の分かりやすい場所に保管し、災害時にはすぐに取り出せるようにしておきましょう。

Ⅵ. 香川県透析施設一覧表

高松地域（香川県中部）

高松赤十字病院	
住所	高松市番町 4-1-3
電話/FAX	087-831-7101　/　087-837-8653
香川県立中央病院	
住所	高松市朝日町 1 丁目 2-1
電話/FAX	087-811-3333　/　087-834-8363
高松市立みんなの病院	
住所	高松市仏生山町 847-1
電話/FAX	087-813-7171　/　087-813-7141
キナシ大林病院	
住所	高松市鬼無町藤井 435-1
電話/FAX	087-881-3631　/087-881-3867
屋島総合病院	
住所	高松市屋島西町 2015-17
電話/FAX	087-841-9141　/　087-841-7392
KKR 高松病院	
住所	高松市天神前 4-18
電話/FAX	087-861-3261　/　087-835-0793
はちまんクリニック	
住所	高松市亀岡町 11-10
電話/FAX	087-862-7878　/　087-862-7600
緑会ザイタックスクリニック	
住所	高松市上天神町 512-1
電話/FAX	087-867-1177　/　087-867-1187
花ノ宮クリニック	
住所	高松市花ノ宮町 1-5-36
電話/FAX	087-816-3555　/　087-816-3550
湯浅クリニック	
住所	高松市上之町 1-3-29
電話/FAX	087-868-9111　/　087-868-9222
中空医院	
住所	高松市香西本町 256-1
電話/FAX	087-881-1230　/　087-881-6171

あきやまクリニック	
住所	高松市香川町大野 459-5
電話/FAX	087-815-8588　/　087-815-8688
香川県済生会病院	
住所	高松市多肥上町 1331-1
電話/FAX	087-868-1551　/　087-868-9733
横井内科医院	
住所	高松市木太町 1663-2
電話/FAX	087-862-2222　/　087-833-6846
三好内科医院	
住所	高松市川島本町 431-5
電話/FAX	087-848-2288　/　087-848-4987
はまもと医院	
住所	高松市六条町下所 795-6
電話/FAX	087-864-6666　/　087-869-1213
海部医院	
住所	高松市高松町 2365
電話/FAX	087-843-3666　/　087-843-3667
ミタニ藤田病院	
住所	高松市三谷町 1680-1
電話/FAX	087-864-8778　/　087-864-8668
国立療養所大島青松園	
住所	高松市庵治町字島々6034-1
電話/FAX	087-871-3131　/　087-871-4821
高松にれクリニック	
住所	高松番町 2-10-6
電話/FAX	087-851-1117/087-851-1116
谷本内科医院	
住所	高松市香川町大野 997 番地 3
電話/FAX	087-885-8500/087-870-4130
さくらの馬場クリニック	
住所	高松市仏生山町甲 471 番地 5
電話/FAX	087-889-3555　/087-889-3554

香川県西部（三豊・観音寺・仲多度・善通寺・丸亀・綾歌・坂出）

三豊総合病院	
住所	観音寺市豊浜町姫浜 708
電話/FAX	0875-52-3366　/　0875-52-4936
四国こどもとおとなの医療センター	
住所	善通寺市仙遊町 2-1-1
電話/FAX	0877-62-1000　/　0877-62-6311
香川労災病院	
住所	丸亀市城東町 3-3-1
電話/FAX	0877-23-3111　/　0877-24-1147
回生病院	
住所	坂出市室町 3-5-28
電話/FAX	0877-46-1011　/　0877-45-6410
滝宮総合病院	
住所	綾歌郡綾歌町滝宮 486
電話/FAX	087-876-1145　/　087-876-1302
井下病院	
住所	観音寺市大野原町花稲 818-1
電話/FAX	0875-52-2215　/　0875-52-5848
みとし会クニタクリニック	
住所	観音寺市柞田町甲 1888-1
電話/FAX	0875-25-1577　/　0875-25-1578
岩崎病院	
住所	三豊市詫間町松崎 2780-426
電話/FAX	0875-83-6011　/　0875-83-6255
善通寺前田病院	
住所	善通寺市中村町 894-1
電話/FAX	0877-63-3131　/　0877-63-2008
河内病院	
住所	仲多度郡多度津町青木 130-1
電話/FAX	0877-33-3113　/　0877-33-0973

永生病院	
住所	仲多度郡まんのう町買田 221-3
電話/FAX	0877-73-3300　/　0877-73-3202
山本ヒフ泌尿器科医院	
住所	仲多度郡まんのう町四條 1105-1
電話/FAX	0877-75-3112　/　0877-75-3153
宮野病院	
住所	丸亀市中府町 4-13-28
電話/FAX	0877-22-3171　/　0877-23-5771
まるがめ医療センター	
住所	丸亀市津森町 219
電話/FAX	0877-23-5555　/　0877-23-6200
陶病院	
住所	綾歌郡綾川町陶 1720 番地 1
電話/FAX	087-876-1185　/　087-876-3795
宇多津病院	
住所	綾歌郡宇多津町浜五丁目 66-1
電話/FAX	0877-56-7777　/　0877-56-7373
淡河医院	
住所	坂出市寿町 3-3-15
電話/FAX	0877-46-3937　/　0877-46-3945
みとよ内科にれクリニック	
住所	観音寺市本大町 1733-1
電話/FAX	0875-25-1117　/　0875-25-1116
綾川クリニック	
住所	綾歌郡綾川町陶 4511-1
電話/FAX	087-876-5151
坂出市立病院	
住所	坂出市寿町 3 丁目 1－2
電話/FAX	0877-46-5131　/　0877-46-2377
こはし内科腎クリニック	
住所	丸亀市郡家町 244-1
電話/FAX	0877-58-6110

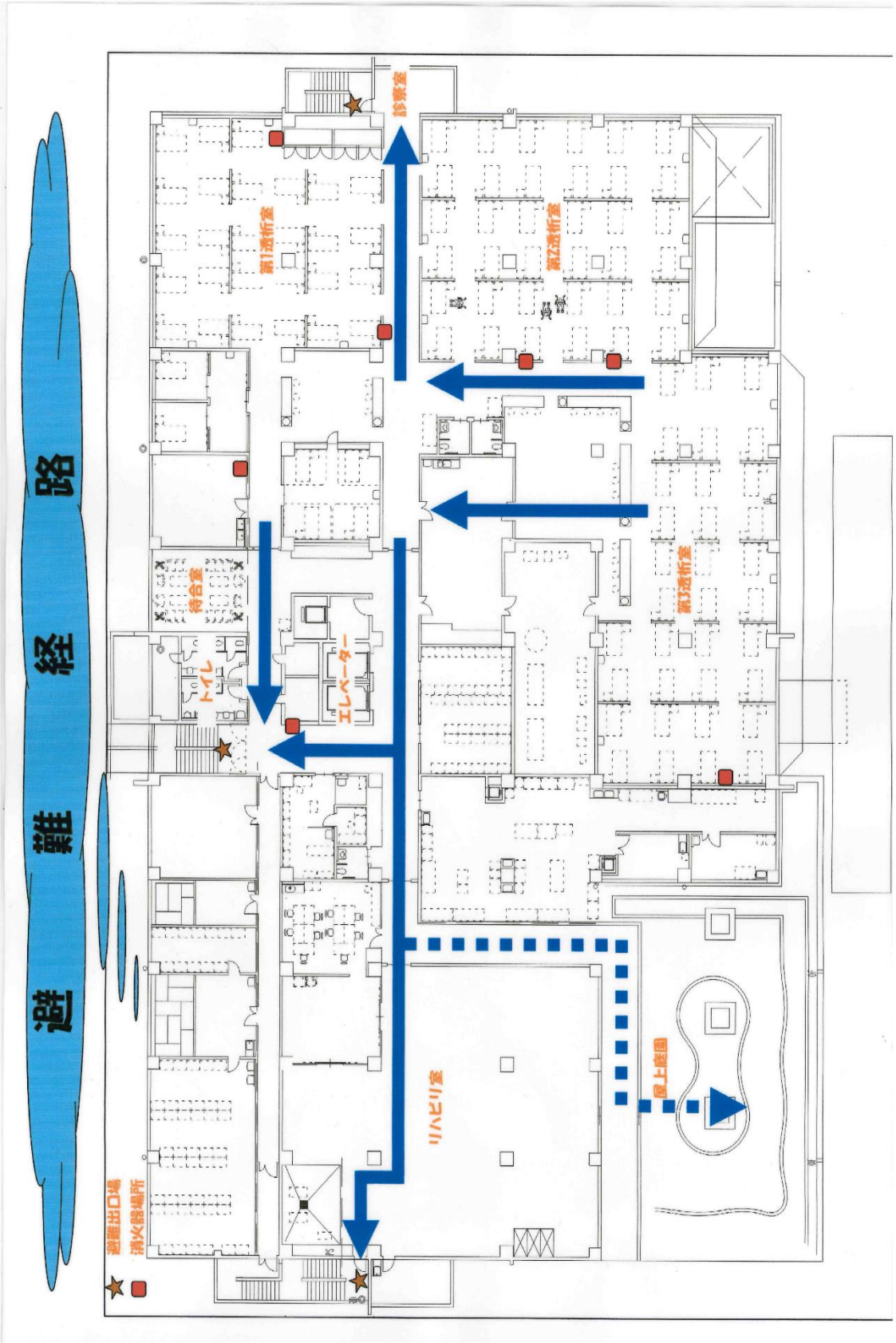
香川県東部（木田・さぬき・東かがわ　地域）

香川大学医学部附属病院	
住所	木田郡三木町大字池戸 1750-1
電話/FAX	087-891-5111　/　087-891-2308
さぬき市民病院	
住所	さぬき市寒川町石田東甲 387-1
電話/FAX	0879-43-2521　/　0879-43-6469
大幸医療センター	
住所	木田郡三木町大字井戸 526-1
電話/FAX	087-899-1212　/　087-899-0202
太田病院	
住所	東かがわ市三本松 1758
電話/FAX	0879-25-2673　/　0879-25-8556
志度あきやまクリニック	
住所	さぬき市志度 235-1
電話/FAX	087-813-8012

小豆島地域

小豆島中央病院	
住所	小豆郡小豆島町池田 2060-1
電話/FAX	0879-75-1221/　0879-75-1131

Ⅶ．避難経路について


避難経路
診察室
第1透析室
第2透析室
第3透析室
待合室
トイレ
エレベーター
リハビリ室
屋上庭園
避難出口場
消火器場所

平成 19 年 7 月 1 日作成
平成 20 年 10 月 1 日改定
平成 21 年 4 月 1 日改定
平成 22 年 4 月 1 日改定
平成 23 年 5 月 1 日改定
平成 24 年 3 月 20 日改定
平成 25 年 4 月 1 日改定
平成 27 年 3 月 7 日改定
平成 27 年 9 月 5 日改定
平成 28 年 11 月 10 日改定
平成 29 年 4 月 26 日改定
令和 3 年 4 月 14 日改定
令和 5 年 05 月 05 日改定
令和 6 年 12 月 26 日改定
令和 7 年 01 月 29 日改定